学校番号	３１８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）世界史入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「アカデミア世界史」（浜島書店） 「授業用　詳説世界史　整理ノート」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史入門では、中国・インド・ギリシア・ローマ・イスラーム等、世界の歴史を古代から学習していきます。世界史入門での学びは、非常に多くの価値観・文化と出会わせてくれるでしょう。単なる語句の暗記で学習を終わらせるのではなく、歴史の因果関係を大切に学習していきましょう。

・授業で歴史の流れ・因果関係を学んだら、その中で重要となる語句を知識として蓄えましょう。知識のインプットがある程度進んだら自分で説明ができるか復習をおこなって、蓄えた知識をさらに定着させていきましょう。
・世界史の学習を行う上で、資料(史料)は重要です。地図・年表・図表を活用しながら学びましょう。

2　学習の到達目標

ａ：世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

ｂ：世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

ｃ：世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 ○諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察することができる。 ○考察、構想したことを説明し、それらを基に議論したりすることができる。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、関心と課題意識をもち、意欲的に探究しようとしている。 ○国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期前半	世界史へのまなざし／文明の成立と古代文明の特質	世界史へのまなざし１ 世界史へのまなざし２ 諸地域の歴史的特質の形成 第１章　文明の成立と古代文明の特質 1　文明の誕生 2　古代オリエント文明とその周辺 3　南アジアの古代文明 4　中国の古代文明 5　南北アメリカ文明	a: 王権と身分・階級、生活と生業、宗教、文化・思想などに関する諸資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 a: 古代文明の歴史的特質を理解している。 a: 農業と気候、文明の誕生について、諸資料から読み取り、理解している。 b: 古代のそれぞれの文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、のちの社会にどのような影響を与えたのかについてどの結果や、事象相互の関連などに着目して、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について多面的・多角的に考察し、問いを表現している。 c: 「古代文明の出現」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	小テスト 整理ノート 定期考査	整理ノート 定期考査 振り返りシート	授業観察 整理ノート 振り返りシート

1学期後半	中央ユーラシアと東アジア世界／南アジア世界と東南アジア世界の	第２章　中央ユーラシアと東アジア世界 １ 中央ユーラシア――草原とオアシスの世界 ２　秦・漢帝国 ３　中国の動乱と変容 ４　東アジア文化圏の形成 第３章　南アジア世界と東南アジア世界の展開 １ 仏教の成立と南アジアの統一国家 ２ インド古典文化とヒンドゥー教の定着 ３ 東南アジア世界の形成と展開	a：秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 a：東南アジアの歴史的特質を概念的に理解している。 b：東南アジア、東アジアの歴史的特質について、主題を設定して考察し、表現している。 c：東南アジア、東アジアの歴史的特質についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	小テスト 整理ノート 定期考査	整理ノート 定期考査 振り返りシート	授業観察 整理ノート 振り返りシート
2学期前半	西アジアと地中海周辺の国家形成	第４章　西アジアと地中海周辺の国家形成 １ イラン諸国家の興亡とイラン文明 ２ ギリシア人の都市国家 ３ ローマと地中海支配 ４ キリスト教の成立と発展	a：王権と身分・階級、生活と生業、宗教、文化・思想などに関する諸資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 b：古代ギリシアとローマ帝国の共通点と相違点について主題を設定して考察し、表現している。 c：古代ギリシアとローマ帝国の共通点と相違点やキリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	小テスト 整理ノート 定期考査	整理ノート 定期考査 振り返りシート	授業観察 整理ノート 振り返りシート

2学期後半	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成／イスラーム教の伝播と西アジアの動向	第５章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 １ アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ２ ヨーロッパ世界の形成 第６章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向 １ イスラーム教の諸地域への伝播 ２ 西アジアの動向	a: 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 a: 西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 b: イスラーム世界の拡大と繁栄について主題を設定して考察し、表現している。 b: 荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c: イスラーム世界の拡大と繁栄について概念的に理解する。 c: ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 整理ノート 定期考査	整理ノート 定期考査 振り返りシート	授業観察 整理ノート 振り返りシート
3学期	ヨーロッパ世界の変容と展開	第７章　ヨーロッパ世界の変容と展開 １ 西ヨーロッパの封建社会とその展開 ２ 東ヨーロッパ世界の展開 ３ 西ヨーロッパ世界の変容 ４ 西ヨーロッパの中世文化	a: ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを諸資料から読み取り、構造的に理解している。 a: 諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 b: 西ヨーロッパの封建社会成立の背景、他地域の文化やキリスト教からどのような影響を受けたのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 b: 社会の展開と成熟やルネサンスについて、学びを深めている。 c: 中世ヨーロッパ社会の展開ついての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	小テスト 整理ノート 定期考査	整理ノート 定期考査 振り返りシート	授業観察 整理ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度